

広報誌

ほのぼのだより

～ほのぼのとした暮らし、ほっとできるひとときを～

第6号

秩父市社会福祉事業団

令和元年7月発行



～もくじ～

- 新元号『令和』新時代の幕開け ～施設長『令和』を語る～ . . . P 2
- ゆくる開所1周年 P 3
- 春の便り P 4, 5
- ほのぼの感謝祭 P 6
- 趣味『悠・遊』、わたしのお気に入り P 7
- 連載『風に吹かれて』 P 8
- 連載『今ありて』～この一瞬の煌めきを永遠に～ P 9
- 専門職（介護士）のコーナー P 9
- 激走！！ほのぼの駅伝部 P 10
- 職員クラブ活動紹介 P 11
- information P 12

表紙の写真

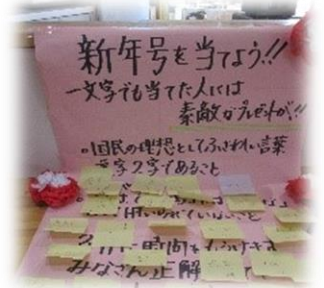
爽やかな風が吹き
渡る皐月に、高原牧場
で出逢った牛の群れ
たち。表紙の写真は、
その中でも一番美人
のマドンナ牛☆
こっち向いて！ハイ、
チーズ♪♪

新元号『令和』～新時代の幕開け～

今年5月1日改元し、『令和』の時代が幕を開けました。様々なことのあった『平成』が終わりを迎えるのは、なんだか少し寂しさを感じました。利用者の方の中には大正・昭和・平成と歩み、4つ目の元号を迎えた方もたくさんいます。利用者さんに話を伺うと、「平成は災害が多く自然の恐ろしさを改めて感じさせる時代だった。でも、身近なものが便利になって暮らしやすくなった。あっという間に時間が過ぎてしまった。」などの話が聞かれました。『令和』はどんな時代となるのでしょうか楽しみです。何より平和な時代になってほしいと願っています。

新元号は何だろう？
みんなで予想しました。

新元号の予想で多かったもの**1位**は「**安永**」、**2位**「**安久**」でした。多く使われた漢字を見てみると、**1位**「**安**」、**2位**は3つあり「**榮**」、「**明**」、「**永**」でした。皆さん良い時代になるようにと願いも込めて漢字を選ばれていました。元号は日本人にとっては大切なものであり、良い時代への希望も含まれているものだと改めて実感しました。元号に込められた想いを胸に刻みながら、良い時代を作っていきたいと思います。



～増田施設長『令和』を語る～

昭和、平成をかけ抜け、そして令和を迎えました。平成の初めに福祉職としてスタートした私は、あっという間に50歳代となりました。その人生をトラック競技に例えると、私は最終コーナーを回ったところです。最近、これからゴールまで何をすべきか、何ができるかよく考えます。記憶力、発想力は確かに衰えている。行動力・忍耐力、交渉力はまだなんとかなる。若い世代に体力はかないませんが、この仕事で培った心身の「タフさ」は健在と自分を奮い立たせています。振り返れば、これまで失敗・危機を何度も乗り越え、喜び・達成感を感じることができました。惜しみない努力・協力することも学びました。私の強みは福祉職としての長い「経験」。これを存分に発揮していきたい。皆が安心して仕事ができる環境をつくりたい。やりたいことができる環境をつくりたい。この仕事をやり遂げる人をつくりたい。やるべきことは沢山あります。しかし、時代の変化のスピードと大きさには戸惑ってしまいます。政治・経済・社会・技術……。政権交代、バブル崩壊、戦争、テロ、災害、インターネット、スマホ……。昭和、平成と驚くほど早く過ぎ、時の流れの早さを一層感じています。そして、明日はどう変わるか分からない状況におかれています。福祉業界も、ICT活用、介護ロボット導入、特定技能に基づく外国人受け入れと技術革新、グローバル化の波が押し寄せています。その中で変わらないもの。見失ってはいけないもの。平成から令和へ変わりゆく中で、「人に寄り添う」、「ともに生きる」という言葉を聞くとホッとします。令和の「人々が支え合いながら」希望に満ちた日本にという思いは、私たちの仕事の精神と同じです。時代が変わっても、人の思い、人とのつながりは永遠に変わりません。夢、熱意、信念、向上心、責任感、連帯感、思いやり、優しさ……。それが事業団にはあります。とにかく、皆と一緒にゴールまで前を向いて、全力で走りきりたい。その姿勢を見せることが私の使命です。





平成30年4月に開所した「放課後等デイサービスゆくる」は、皆さまに支えられ1周年を迎えることができました。

児童からの発案でおこなった1周年イベントでは、クラッカーを鳴らしたり、1年を振り返ったりしながら「おめでとうございます！」と元気な笑顔で一緒にお祝いしました。これからも、たくさんの思い出を作りましょうね。



ゆくるでは、「将来の自立に向けた支援の提供」という目標があります。それには、“苦手なものにも挑戦する”“昨日来なかったものが出来るようになる”といった、ひとつひとつの経験の積み重ねが重要だと考えています。これからもそういった体験を大事にした支援を心がけていきます。

ゆくるでは、サービスの実施状況について意見をもらうため、保護者や事業者に向けたアンケートを実施しています。皆さまから貴重な意見をいただきました。その中の一部を紹介いたします。

「子どもが通所を楽しみにしている」、「様々な活動、行事があり毎日ありがたく思っている」、「定期的に成長の様子、日頃の様子を報告してもらい細部までみてもらっていると感じている」、「土日、祝日も通所できるようにしてくれるとありがたい」、「他の児童館や障がいのない児童との活動についてはあまり聞いていない」、「父母の会の活動の支援が少ない」など。

また、児童からは「レインボーアイスを作りたい」、「職員さんにアイドルのダンスを踊ってもらいたい」、「つり橋に行ってみたい」、「お泊り会がしたい」など。

お忙しい中、ご協力いただき大変ありがとうございました。伺ったご意見を実際の形にしたいと考えています。すぐにできるものもあれば、時間がかかるものもあります。現状に満足することなく取り組んでいきたいと思います。

それぞれの家庭や学校と協力しながら、ゆくるだからできる経験、ゆくるでしかできない経験を大切にしていきます。今後ともよろしくお願い致します。



雪解け、芽吹き、そして春を告げる祭の音



山田の春祭り
&
小鹿野春祭り



故郷の祭りは、そこで暮らす人にとって誇りです。春の訪れのときめきと共に、変わらぬ故郷への郷愁を抱きました。

塚越花祭り

花祭りは、お釈迦様の誕生日をお祝いしています。早朝から、子供たちが元気に花びらを撒きながら進みます。その景色は、何とも可愛らしく、幻想的でした。



寄居北條祭り

揃いの甲冑を身に纏った武者、ここは戦国時代?! ド迫力! タイムスリップした気分です。

桃の節句に端午の節句

横瀬町、秩父市久那、そして、群馬県神流町万場の鯉のぼり、暖かい陽気のもと、みんな気持ちよさそうに泳いでいて、気分は爽快でした。



少女の頃のように・・・
皆さん素敵な笑顔です。



空を見上げて、
風を感じて、
想いを馳せました。



手作りで、季節を味わい

イチゴ大福、よもぎ餅、そして、柏餅・・・
季節を感じる美味しさです。精が付きます。



春爛漫、花盛り

春の麗らかな日和、花の香と共に、誰かと過ごす幸せな時が綴られていきます。



羊山公園芝桜の丘にて



秩父高原牧場天空のポピーにて



寄居町鉢形城跡氏家桜にて



児玉町骨波田の藤にて



秩父高原牧場にて



荒川花見の里にて



吉田元気村にて

今日という日に、

小旅行に行ってきました

長寿荘偕楽苑の皆さんは、新潟が故郷の人の紹介で、新潟県見附市今町・長岡市中之島大風合戦へ。風が弱く風あげ苦戦の様子、でも凄い熱気！何より、新潟の米は最高に、美味しい！皆さん、思わずお替りしてました。



吉祥苑入所者の皆さんは、日高市の醤油王国へ。醤油作りの工程を見学する大人の社会科見学。朝の搾りたての醤油で卵かけご飯を食べて、大満足。新鮮って、凄い！



元レーサーの長寿荘利用者さんの希望で、伊香保まで出掛け、クラシックカーを見学してきました。かわいい人形やレトロなおもちゃなどの展示に皆さん童心に帰っていました。クラシックカー、一度は乗ってみたいですね。

ほのぼの感謝祭

『ほのぼの感謝祭』を皆様への感謝の気持ちと、入所者の皆さんの生活が豊かなものとなるようにとの思いを込めて、去る6月9日に盛大に開催することが出来ました。

雨天にもかかわらず、ご来場いただいた皆様には、厚く御礼申し上げます。



長寿の秘訣は何だろな？！
ご長寿クイズは、迷解答連発。
下の方が、名司会者です。



落語家 六本木へたろう様による
『あくび指南』の一席。
流暢な語りに、感動と爆笑の渦。



XLの方々、
けろっこデメタン
踊ってます。



やはり、奴らがやってきた。
仲良くセッション！
そして、カモメが飛んだ！



6月9日は、ロックの日 ☆
ロッケンロールな一日になりました。
We will ♪ We will ♪ rock you!!!



歌姫&白衣の天使
「好きになった人」を熱唱



♪ Mom don't cry

Shak it up, baby !

はじける、笑顔がいっぱい

新人、旧人の皆さん、
ハッスルタイム
新しい風の予感…。



趣味 悠・遊

皆さんの趣味はなんですか？
今も楽しんでいることをお尋ねしました



宮前 昌作さん
(高篠デイサービス)

自分が吹きたい気持ちになった時に、ハーモニカを取り出します。上手いとか下手とか周りの声は気にしません。自分が楽しく吹ければよいと思っています。

現在、二代目であるこのハーモニカは、娘が私のためにプレゼントしてくれた思い出の物です。デイサービスに行く時も、お風呂の準備と一緒にバックの中には必ず、ハーモニカを入れていきます。こうして、妻と一緒にデイサービスに出かけ、皆さんにハーモニカを聴いてもらえることは、私の最高の楽しみです。妻は苦笑いをしていますが・・・

小学校5年の時に、兄がハーモニカを吹いていたのを見て、自分も吹いてみようと思ったのがきっかけでした。今ではテレビで好みの曲を耳にすると、ハーモニカを持ち出し吹いています。

戦争の時代には、遠くシベリアで厳しい時代を過ごしたこともあり、その間は大好きなハーモニカを吹くことが出来ず寂しい思いも経験しました。そして、戦争が終わり、子供たちの前で、ハーモニカを吹くことが出来た時は、本当に嬉しかった。

十八番は「春が来た」です。これから、どんな曲でも楽しく吹いていきたいです。

私の人生においてハーモニカは、ずっと一緒に過ごしてきた戦友です。

わたしの お気に入り

職員の趣味 を紹介♪

高篠デイサービス職員
関根 制子



世間でフラダンスが流行しだした頃に、公民館講座へ申し込んだことが、私がフラを始めたきっかけです。私がフラに魅せられて早15年。今ではインストラクターとして週1回、10名程度の生徒さんと汗を流しています。仲間とワイワイ賑やかに楽しむことが、私のダンスの味わいを深めてくれます。

フラダンスと言えば、煌びやかな衣装。素敵な衣装に身を包むと、いつもとは違った自分になれます。そして、見事にシンクロするダンス。色々な曲の感情や言葉を手の動き一つ一つで表現します。みんなの動きを揃えるためにはなかなかの努力が必要です。練習を重ねダンスの動きが綺麗に揃った時の達成感は本当に最高です。ダンスの上達はもちろんですが、楽しく練習し、皆さんが健康になってくれたら・・・それが私の何よりの願いです。

仲間たちと、おしゃべりをしたりランチをしたり、それもフラダンスを続けている楽しみの一つです。気のおけない仲間と過ごす時間は、私にとって特別な時間です。そして、こうした思いを共にできる仲間たちは、フラダンスを通じて手に入れた大切な宝物です。声がかかれば、自分の度胸試しも兼ねてどこへでも出かけます。大人の魅力でイチコロにして見せますわ。



連載 『風に吹かれて』 ～心のかたちを知りたくて～

・・・もし心に形があるならば、もし心に色があるならば、たしかな思いを丁寧に紡いで綴ります。

『介護の日々～命を見つめて』

特別養護老人ホーム偕楽苑入所者家族 高野 勝

平成30年5月5日、子供の日も終わろうとする深夜、父は、偕楽苑の一室で娘（私の妻）、孫、私（養子）に見守られながら89歳の人生を静かに閉じました。父が看取りに入った数日間、昼夜を問わず、苑の皆さんが静かに声掛けをしたり、そっと見守って下さいました。付き添っている私ども家族にも、労いの声掛けを頂き、悲しみの中にも温かい心根を持ちながら、父を見守ることが出来ました。5月5日は、奇しくも8年前、病院で療養中だった母が、娘に看取られて静かに他界した日でした。酸素マスクを外した父の顔が、何故か満足そうな微笑みを浮かべていました。その父の笑みを見た時、静まり返った部屋に、これまでの介護の日々の記憶が蘇りました。

母は癌に罹患し切除術をして自宅療養、1年後再発、肺に転移し他界しました。施術から約1年半の間、妻は毎日、車椅子での散歩、滋養の付きそうな食事の世話、リハビリの千羽鶴折り、入浴・トイレの介助など、忙しく介護しました。82歳と高齢の母に対し、施術の同意は苦渋の判断でした。「長い間、パーキンソン病で腕の振戦が強く、姿勢反射障害も進みつつある小柄な母にとって、癌との戦いはどんなに辛かったことか。しかし、施術していなかったら、もっと長生きできたかも知れない」と、母が他界した後も自問自答する私がいまいました。

母の喪中の正月でした。父は、入浴中に浴槽内で気を失っているのを家族に発見され、救急搬送で入院、「てんかん、脳梗塞の疑い」と診断され、3ヶ月程入院した後、検査で「アルツハイマー型認知症」と診断されました。この頃から、父のADLは顕著に下降し始め、妻は、母から父へと対象を変えて、継続的な介護の日々が再開されました。父の記憶の後退はあまり無く、入浴やトイレ介助、杖歩行介助、立位座位の介助など、介護内容は徐々に増え、覚悟していましたが、オムツ外しが毎日のようにおきて、妻や家族の疲れも大きく、何とか在宅で看ようと頑張りましたが、家族が一生懸命介護すればするほど、精神的、情緒的ダメージが増え、介護する者、介護を受ける者双方の感情が壊れていくような危機感を感じました。その頃、利用していたデイサービスの皆さんに、父の介護について親身に相談に乗って頂きました。在宅介護か施設入所かの選択は、ケアマネさんも含め皆様の心のこもった支援が無ければ、様々な感情での躊躇と葛藤の渦の中で介護地獄にはまり込むところでした。介護サービスを利用し、多くの支えのもと在宅介護を乗り切り、父は、平成26年に偕楽苑に入所しました。施設入所してから一度も家に帰ると言いませんでした。施設に対する理解が出来ていたようです。家族にとっては、少し寂しい気もしますが。入所してからは、お祭りやいちご狩りなどの外出、苑内での行事にも参加して楽しく生活していました。父の人生において、一番楽しい日々であったのではと思います。

しかし、老いは着実に進みます。熱発することが多くなり、その都度、食止め、点滴の繰り返しです。体重も激減しましたが、本人の飲食する意欲はまだ十分あると感じました。老いて逝くのは自然の摂理、老衰で自然に食べられなくなる時が、逝く時期のサインと思い、苑に昼食の介助を申し出ました。毎日、昼食時に、妻の手作りソフト食や高栄養食品を持参し、時間をかけて昼食の介助をさせていただきました。職員の皆さんからは、毎日、詳しく父の様子をお話いただき、私も昼食時の様子を報告しました。食べている時の父は、老いを進ませながらも、自分の生を十分に満喫していると実感しました。こうした日々を一年程過ごし、苑の常食を食べられるまでに回復しましたが、ある日、熱発した父は、そのまま静かに逝きました。自分の寿命を計ったように、食べられるだけ食べて、微笑みながら、母の命日に合わせて逝く父の人生の終い方に立ち合い、思わず父母に問いかけました。「親父、これでよかったのかい」、「ばあちゃん、これで、いいかい」と。

嘱託医の先生からは、老いに向かったの医療の在り方を親切にご指導いただきました。また、家族に寄り添い、家族の想いと入所者の尊厳を十分に鑑みながら、終の棲家で暮らす入所者の生活をより良いものにしようと、日々研鑽している偕楽苑職員の姿を垣間見て大変感銘しました。いまだ、「養老院なんか」、「デイなんか」、「世話になりたくないから家に居る」と話す人も大勢います。年齢によらず施設を大いに知っていただければ、無理な在宅介護も避けることが可能と思料する昨今です。有り難うございました。

【Heart. 12】

連載 今ありて ～この一瞬の煌めきを永遠に～



秩父市ヘルパーステーション
千島 智子

「家が一番。できるだけ家で暮らしたい」皆さん口を揃えてそう話されます。私の両親もそうでしたが、母は病院で亡くなりました。病院向きでない父は、色々な人に助けられ、最後は自宅で亡くなりました。

ヘルパーが入ることで少しでも暮らしやすくなればと、お手伝いをさせていただいています。例えば、なるべく転倒しない室内のしつらえ、暑さや寒さへの早めの備え、またベッドで過ごされる方には、各々の配慮など。訪ねるお宅は十人十色の暮らしぶりをされていて、また十人十色の人生を送ってきておられました。まさに人生の大先輩でした。たくさん知恵を頂きました。

忘れられない方がいます。ある時、友達に渡したいと余り布で枕を縫い始めました。中に詰めるそば殻が欲しいと、なんとか蕎麦屋さんで調達。もう一つ、もう一つと作られました。後から自身の体調の変化を察し、形見代わりの心づくしを用意されたと知りました。進行していた肝臓がんで、じきに入院するも亡くなりました。いつも上手に距離を保って下さる人でした。日の当たる縁側での、急に「友達だで…」との声掛けが夢のように思えます。会えないけれど、いずれきっと会える。

実習の時の先生の言葉「手・足と頭と、それから心を使って動いて下さい」が大好きです。小さなことにもささやかな知恵を出せるヘルパーになりたいと思います。独りよがりではなく、相談しながら良い関係を築いていければと思います。まず信頼して頂いてこそその在宅訪問です。一日も長く家で過ごせるためのお手伝いができますように、良い仕事ができますようにと、今日も明日も私の訪問は続きます。

「繰り返すどんな日常も愛おしい」『風に吹かれて』 【Heart. 13】

介護士のコーナー

今回のテーマ 『世界に一つだけのオムツ』

偕楽苑介護職員
小林 剛起



私が介護の仕事に就き13年がたちます。新人の頃、褥瘡防止委員会の担当となりました。委員として褥瘡の防止について考える中で、排泄のあり方について勉強を続けてきました。その頃より、オムツのあて方などの排泄介助には、人一倍こだわりを持っており、技術は誰にも負けない自信があります。

一般的に排泄はトイレで行うものです。しかし、体が不自由で要介護状態の方は、トイレでの排泄が難しい場合もあり、オムツが必要となります。出来る限りトイレで排泄できるよう支援しています。でも、オムツが必要な方はどうしても存在します。こうした時、暮らしの中で、オムツは生活の必需品です。オムツがあるから、食事をおいしく食べたり、気持ちよく睡眠できたり、レクリエーション活動や外出を楽しんだりできるのです。いわば生活の質をオムツが支えているとも言えます。想像してください。もし、ゆるゆるでくしゃくしゃなオムツが着けられていたなら。漏れが気になってしまったら…。楽しい時間を過ごすことが出来ますか？夜よく眠れるでしょうか？

人にはそれぞれ個性があり、一人として同じ人間はいません。足の太さ、身体の大きさ、体の動きの癖等、人それぞれです。ですが、オーダーメイドのオムツはありません。そこにあるオムツを、まるでその人専用で作られたようなオムツにしていくこと、それが私の得意技だと思っています。私が追い求めている究極のオムツは、付けているのを忘れてしまうようなオムツです。その人の身体、その人の活動性を理解するよう努めています。そして、オムツで排泄する方の気持ちについて、いつも考えています。気持ちに寄り添いながら、その人にとってスペシャルなオムツを生み出しています。生きていくうえで排泄するのは毎日のこと、私たちが排泄介助するのも毎日のこと。でも、その人の身体、気持ちは、刻々と変わっていきます。スペシャルなオムツは、すべてに寄り添って一期一会です。

元気に長生きする人は、よく食べてよく出す人。すべての人に排泄の悩みを無くし、よく食べて、よく出すことを全力で支えて行きたいと思います。

激走!!ほのぼの駅伝部

平成31年2月17日、青葉昌幸杯第57回秩父駅伝競走に職員有志で結成された「ほのぼのRC」が参加しました。突然の結成から感動のゴールまでの道程を報告いたします。

《結成秘話》



高校時代陸上経験者、中学時代100m郡市優勝者、各地のマラソン大会、トレラン大会、トライアスロン参加者など、あっという間に、7人の強者が集まりました。集まるはずないと思っていた福岡職員もビックリ・・・。年末より自主練開始。さすがの猛者達、想像以上の仕上がりに。しかし、思わぬトラブルが、主将で大エースの福岡職員が、意気込みが強すぎたのか？責任感が強すぎたのか？欲張りすぎたのか？まさかの故障。キャプテンのリタイアは、チームワークで埋めようと一致団結しました。

《大会当日》

一般男子の部は35チームが集まり、他にも男女混合チームや高校生、中学生の部もあって想像していた以上に本気の人ばかり・・・。これはまずいのでは・・・？相手は関係ない、望むところだ！やるからには、勝つ！！強い決意をもって臨みました。一番の強みはチームワークです。出走前に記念撮影、思い出作りも忘れません。



《スタート～ゴール》

1区 佐久間職員：コンディション60%、やる気100%、120%の激走でした。本当はもっと過酷な条件が得意です。2区 加藤職員：志願の山登り、一番苦しい区間を飛び交う黄色い声援をうけ、気持ちよく走り切りました。3区 引間職員：黙々と一歩一歩、普段の仕事と一緒に。堅実な襴渡し、練習量一番、安定感抜群。気合の鉢巻きでナイスランでした。4区 本多職員：キャプテンの代役での出場、本人は自信があったようですが・・・。監督の「男だろー！！」の怒声に気合が入り、ちょっとだけスピードアップ。そして、アンカー5区 門平職員：足の運びが違う！とにかく軽やか！6人抜きの快走。大声援の中、選手、応援団一体となつてのゴールは感動的でした。チームは、完走した34チーム中27位と大健闘！！



選手はそれぞれ個性的なランを見せ、見事完走。応援団は、周りの人に褒めてもらうほどの気合。この一歩が、次へと必ずつながると思っています。「ほのぼのRC」の活躍に乞うご期待ください。

次は、頼みますよ。キャプテン・・・。



青葉昌幸大会会長と記念撮影



ほのぼのだより 第6号

職員クラブ活動紹介

秩父市社会福祉事業団の職員には、様々な趣味を持った人、特技を持った人がいます。共通の趣味や特技を持った者が集まって色々な活動が行われています。

こうした活動を通じて、親睦を深めるとともに仕事への活力を養っています。今回は、現在活動している皆さんに、その様子を紹介してもらいました。

(①メンバー数 ②活動頻度 ③活動場所 ④自己PR)

ほのぼの太鼓会

- ①10人 行事により職員に協力してもらっています。
- ②不定期 行事前に連絡して集中的に練習しています。
- ③ほのぼのルームで17時半から1時間程度です。
- ④幼少期からやっている人から初心者まで皆で楽しく行っています。ゆるくの子供たちやほのぼのマイタウン入所者の方と練習することもあります。子供たちの上達は、私たちの喜びでもあります。秩父と言う土地で太鼓を楽しむ素晴らしさを、今後も皆さんと分かち合えればと思っています。



ちゃりんこ ♥ 部

- ①9名
- ②普段は各自で練習を行い、月に1回程度ロングライドをしています。
- ③秩父、児玉、荒川サイクリングロード
- ④日頃の運動不足を楽しみながら解消するために発足しました。ゆったり景色を楽しむ者、山を登り己の身体をイジメ抜いて快楽を得る者、楽しみ方はそれぞれですが、時間が合う者同士で楽しくツーリングしています。8月には、荒川サイクリングロードで160kmのロングライドを行っています。



マイタウンバンド

- ①8名
- ②活動依頼を受け、本番2か月前から週一回程度集まり練習をしています。
- ③ほのぼのルームに楽器を持ちこみ業務明けから練習します。時折、メンバー宅で練習することもあります。
- ④全員、楽器の経験は少ないですが全くないわけでもなく、初心者レベルで楽しく集まっています。そんな中一生懸命練習して1つになった時は何とも言えない達成感と一体感を味わえます。



ほのぼのRC(ランニングクラブ)

- ①選手、サポーターを含めて15名くらい
- ②秩父駅伝では自己練習で臨みましたが、今後は月一回程度の練習会(業務明け30分~1時間)を開催予定です。
- ③主にミューズパークで実施する予定です。
- ④新しい挑戦で集まりましたが、来年の秩父駅伝の参加を目指して練習をしていければと思っています。いい成績を収めたいと思いますが、まずは各自が一生懸命やること、互いに成長し感動できるクラブを目指していきます。

酒が好きな人たち倶楽部

- ①無限大(組合せ自由)
- ②暇さえあれば
- ③酒場
- ④コノサカヅキヲウケテクレ/ドウゾナミナミツガシテオクレ/ハナニアラシノタトエモアルサ/サヨナラダケガジンセイダ

各兵衛集合



(仮称) 多機能型福祉施設、計画中

秩父市社会福祉事業団は、高齢者介護等の事業を行うために設立されました。しかし、現在では、障がい者事業である重度心身障がい者通所施設、障がい者相談支援事業所、放課後等デイサービス事業も行っています。多くの方々との関りの中で、様々な意見、要望を耳にし、これらのニーズに応えることが必要であると考えています。

そこで、当法人では(仮称)多機能型福祉施設の建設に向け準備を進めています。この施設は、障がいを抱える方々や高齢者を対象とした通所施設です。2～6歳の発達につまずきのある幼児、6歳～18歳の障がい児、18歳以上の障がい者を対象にした施設を検討しています。また、65歳以上の高齢者が通所するデイサービス事業も併設し、未就学児から高齢者になるまで、通い慣れた場所で安心して過ごすことができるようサポートしていきたいと考えています。

(仮称)多機能型福祉施設については、次号でも進捗状況等ご案内する予定です。

新たな職員が加わりました

昨年度、当法人では職員採用試験を4回実施いたしました。その結果、介護職9名、看護師2名の職員が採用となり、4月1日、秩父市役所市長室において辞令交付式を行ないました。

また、新規採用職員研修を4月1.2.3日に実施し、介護職場のマナー、介護保険制度、認知症高齢者の理解と対応、事故防止対策、感染症対策、腰痛予防対策等について学んだほか、当法人で運営している事業所見学も行いました。放課後等デイサービスでは子供たちと一緒に親子丼を作って食べ、貴重な時間を過ごすことができたと思います。

新規採用職員は、年齢も経験も様々ですが、特別養護老人ホームへ配属となり、頑張っています。利用者、ご家族の皆さま、新規採用職員をどうぞよろしくお願いいたします。



市長室での辞令交付式の様子

編集後記

早いもので、新元号になって3ヶ月が経ちましたね。平成から令和に変わる瞬間を皆様はどのようにして迎えられたのでしょうか。私は各々のテレビ局がどんな形で元号が変わる瞬間を視聴者に伝えているのか気になり、テレビのチャンネルをちょこちょこ変えながら新しい元号の時代を迎えました。さて話は変わりますが、私の趣味についてお話ししたいと思います。男の子なら誰もが興味を持つであろう模型作りを趣味にしています。パーツを切り離して、整形して、塗装をして、そして完成を迎えます。始めは単なる部品でしかないパーツが、形になる瞬間…その感動はとても味わい深い物です。私の人生もまだまだ小さなパーツを組み合わせているにすぎません。ですが、その小さなパーツがいつか自分の人生の形として残せるように1日1日を有意義にしていきたいと思っています。結びになりますが、模型作りに興味のある方は御一報下さい。いちから丁寧にご教授いたします。(信)

秩父市社会福祉事業団「Facebook」更新中！ <https://www.facebook.com/chichibu.honobonomytown>

秩父市社会福祉事業団 HP アドレス

<http://www.chichibu.ne.jp/~honobono/>



秩父市社会福祉事業団

検索

